|  |
| --- |
| **平成25年度　大阪府の一般廃棄物**  　　　　　　　　　大阪府環境農林水産部循環型社会推進室資源循環課施設整備グループ  健康医療部環境衛生課水道・生活排水グループ  《 詳しくは大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/shigenjunkan/recycle/osaka27.html>　》 |

平成25年度における大阪府の一般廃棄物（ごみ及びし尿）の排出及び処理状況等について、国が実施した調査結果をもとにとりまとめました。結果の概要をお知らせします。

統計トピックス3

**１　ごみ処理の概要**

（１）ごみ排出の状況

大阪府のごみの総排出量（生活系ごみ＋事業系ごみ）は、329万９千トン（前年度比3.1％減）、府民１人1日当たりのごみ排出量は1,018グラム（同3.1％減）となりました。（図１）

なお、1人1日当たりのごみ総排出量は、事業系ごみの割合が高いため、全国で8番目に多くなっていますが、生活系ごみについては、全国で５番目に少なくなっています。

（環境省「一般廃棄物実態調査」より）

図１　ごみ総排出量の推移



（２）ごみ処理の状況

大阪府のごみの最終処分量は42万６千トン（前年度比9.0％減）で、全国で最も多く、1人1日当たりの最終処分量は131グラム（同9.0％減）で、全国で7番目に多くなっています。

また、資源化されたごみの量は43万８千トン（同4.8％増）、リサイクル率は13.3％（同1.1％増）となりましたが、全国で2番目に低くなっています。（図２）



（環境省「一般廃棄物実態調査」より）

図2　総資源化量とリサイクル率の推移



図2　総資源化量とリサイクル率の推移

（３）府内の市町村の取組みベスト５（リデュース・リサイクル・エネルギー回収）



**２　し尿処理の概要**

（１）水洗化の状況

大阪府の総人口887万人（前年度887万人）のうち、水洗化人口注1）は867万人（構成比97.8％）、前年度866万人（同97.6％）です。うち公共下水道人口が814万人（同91.8％）、前年度811万人（同91.4％）、浄化槽人口注2）が53万１千人（同6.0％）、前年度55万４千人 (同6.2％）となっています。

一方、非水洗化人口は19万５千人（同2.2％）、前年度21万３千人（同2.4％）と、公共下水道の整備により水洗化人口が増加し、非水洗化人口は減少する傾向にあります。（図３）。

注1）水洗化人口＝公共下水道人口＋浄化槽人口

注2）浄化槽人口＝合併浄化槽人口（コミュニティ・プラント人口を含む。）＋単独処理浄化槽人口

注3）グラフ中の数値はそれぞれの構成人口（万人）です。



図３　し尿処理形態の推移注3

（２）し尿の排出・処理状況

　くみ取りし尿及び浄化槽汚泥の計画処理量は合計で603千kL（前年度624千kL）です。

それぞれの内訳は、くみ取りし尿の計画処理量は317千kL、浄化槽汚泥の計画処理量は286千kLとなっています。（図４）

図４　くみ取りし尿及び浄化槽汚泥の処理内訳

